

警 察 署 協 議 会 会 議 録

うきは警察署協議会

開催年月日時	平成28年12月12日 午後4時15分 から 平成28年12月12日 午後5時50分 まで	
開催場所	うきは警察署3階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下7名
	警察署	署長、副署長 総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶】</p> <p>会長から「日本経済新聞に今年のヒット商品番付が載っており、東の横綱が「君の名は」、西の横綱が「ポケモンGO」であった。どちらも娯楽関係であるが、日本の経済状況等は、娯楽にはまる状況でもないように感じる。1990年ころにバブルが崩壊し、その後は、国の借金も増加が著しく、会社ならば倒産している。政治は国民に迎合し、国力・学力・技術力も下ってきている。日本から技術力がなくなると国が立ち行かなくなるため、常にナンバー1を目指さなければならない。世界はアメリカを始め保護主義へ進む傾向であり、日本はこのような状況の下、立ち向かっていかなければならない。</p> <p>警察署協議会にあっても、地域の安全・安心を常に考え、治安維持に立ち向かっていかねばならず、本日も、地域の安全安心に向け、活発な御意見を願います。今年の警察署協議会の運営に御協力いただき感謝申し上げますとともに、来年もよろしく願います。」旨挨拶があった。</p> <p>【署長挨拶】</p> <p>署長から「委員の皆様には、日頃から警察活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。本年も残りわずかであるが、当署管内では、大きな事件・事故等は発生しておらず、引き続き、脇を締めて治安維持に取り組んでいきたい。</p> <p>今年1年を振り返った3大ニュースを紹介する。第3位は、県下柔道大会で第3位に入賞したこと。10年ぶりのことで、署員の士気高揚に繋がった。第2位は、サイバー空間の違法・有害情報の削除件数が、全国警察署で第1位になったこと。暴力団対策の一環として、小規模署でもできることとして、サイバーパトロールを強化した結果であった。第1位は、平成12年以来の殺人事件が発生したことであった。</p> <p>本日も最近の事件発生状況・検挙状況・各種取組などを報告する。忌憚のない</p>		

議 事 概 要

御意見を願います。」旨挨拶があった。

【報告事項】

- 1 うきは警察署管内の事件・事故発生状況について（平成28年1月～11月）
 - (1) 犯罪発生状況
 - (2) 交通事故発生状況
- 2 最近の事件検挙状況等について
- 3 事件事故抑止への取組について
- 4 交番・駐在所だよりの紹介・審査について
- 5 薬物乱用防止について

【質疑応答等】

- 委員から「自転車盗の発生は駅周辺が多いとのことであるが、駅には防犯カメラが設置されている。犯行場所は防犯カメラに映らない場所なのか。」旨質問があり、生活安全課長が「自転車盗の発生は、防犯カメラがある駅の駐輪場のみでなく、駅周辺の路上や民家の敷地など、駅を中心にした地域で発生しているため、駐輪条例を活用した放置自転車の撤去や職務質問の強化等で発生抑止を行っている。」旨回答した。

また、委員から「空き巣の発生は、山沿いが多いようである。青パトで見せる活動を増すといいのではないか。」旨質問があり、生活安全課長が「青パトについては、青色回転灯など自費で購入する必要があるが、講習や公安委員会への申請などを行えば、防犯活動時に運行できるため、増車について検討したい。なお、12月15日に、青パトの夜間パトロール出発式を行う。」旨回答した。
- 委員から「最近、高齢者の事故のニュースが多いが、運転免許の返納はあっているのか。」旨質問があり、交通課長が「数十件の返納があっている。交通の便が悪く、足がなくなるので、返納をためらう人も多い。交通手段の確保等が進まなければ、返納のハードルは高いと感じる。」旨回答した。

また、委員から「運転操作ミスによる交通事故のニュースを目にする機会が多いが、同種事故は増加傾向なのか。」旨質問があり、交通課長が「最近、運転操作ミスによる事故がクローズアップされているため、増加しているように感じるが、同種事故は以前から発生している。」旨回答した。
- 委員から「最近、身代金を要求するサイバー攻撃が発生しているとテレビ報道で見たが、同攻撃があった際は警察に届けばいいのか。」旨質問があり、生活安全課長が「同種の事案が発生した際は、警察へ届けていただきたい。金銭の要求に対し、お金を払う必要はないが、パソコンの初期化などをする必要があるため、普段からバックアップを取っておくことが望ましい。」旨回答した。
- 委員から「非行少年の立直り支援活動として「うきは絆プロジェクト」を数年前から行っているが、同じメンバーが参加しているのか。」旨質問があり、生活安全課長が「11月5日に非行経験のある少年などが参加して、シシ汁を振舞いながら熊本地震の被災地への義援金を募る支援チャリティーを

議 事 概 要

行った。新たな子にも声掛けを行っており、参加メンバーは変わってきている。就労や進学する参加少年も多い。」旨回答した。

- 委員から「危険ドラッグはどこで作っているのか。新たに出回る危険ドラッグに制限はないのか。」旨質問があり、署長が「製造については密輸がほとんどである。洋上取引を行っている例もある。危険ドラッグについては、指定成分に応じて一つ一つ規制されていくため、指定成分を少し変えた新たなドラッグが出てくると、その都度指定しなければならず、いたちごっこが続いているのが現状である。」旨回答した。

【閉会】

以上で、第4回うきは警察署協議会を閉会する。

【警察署協議会開催状況】

